

平成29年 第1回 議会定例会

一般質問

1. 9番 野田 泰博

2. 7番 軍司 俊紀

3. 3番 永瀬 洋子

印西地区環境整備事業組合議会

議席 9 番 野田 泰博 議員

【質問 1】 印西クリーンセンターの解体工事費 10 億 6 8 9 0 万円に温水センターが入っていない理由は何か？

【質問 2】 周辺整備費用は運営費としてその施設が存続する限り組合が支払う必要があるのですか？

【質問 3】 周辺整備の基本的な考え方について：周辺整備費及び地域振興策整備費は迷惑施設だから地域への費用なのか。

【質問 4】 ごみ減量により次期施設建設費は抑えるといった管理者の構想に基づいた経費削減案は地域振興整備案にどの程度盛り込まれたのか。組合構成市町のごみ減量の取り組みにどのように反映させるのか。

議席 7 番 軍司 俊紀 議員

【質問 1】 高齢化時代の廃棄物対策について

厚生労働省では、2025 年（平成 37 年）を目途に、「地域包括ケアシステムの構築」を目指し、また構成自治体では取組が進めていると考えています。

組合では本格的な超高齢化社会の到来と共に、今後ますます深刻となっていくと考えられる「在宅医療廃棄物」「使用済み紙おむつ」「遺品整理ごみ」といった高齢化時代に増加する廃棄物の処理についてどのように構成自治体と取り組んでいくのか。

(1) 在宅医療廃棄物について

- ① 「保険薬局での医療廃棄物の回収」の案内が昨年、印西市や白井市に出されたが、組合では構成自治体とどのように話し合いをすすめているのか。
- ② 市民に対する告知は充分か。

(2) 使用済み紙おむつの処理について、組合ではどのように考えているのか。

(3) 遺品整理に伴う廃棄物について、構成自治体では組合と連携がとれているのか。

(4) 高齢化時代の廃棄物対策として、組合が構成自治体と協力して取り組むべき課題はあるか。

【質問 2】 事業系ゴミ対策について

事業系一般廃棄物は事業所から排出されるごみでありながら、統括的な処理責任は印西地区環境整備事業組合に存すると聞く。その適正処理や減量の推進をめぐっては、組合が域内の事業者には排出者責任を意識させることはもとより、組合が許可を与えた一般廃棄物処理業者の取組も重要になる。組合では現状そして今後、事業系ゴミ対策にどのように取り組んでいくのか。

(1) 現状の許可業者数は何社か。

(2) 事業系ごみの減量施策はどのようなものか。

(3) 産業系廃棄物が入ってしまうことはないか。

【質問3】現在の印西クリーンセンターと周辺施設の運営について

(1) 延命化工事は平成29年度で事業が完了するが、延命化工事はスケジュール通り、進んでいるのか。

(2) 印西温水センターについては、大規模修繕の必要についてはどのように考えているのか。

議席3番 永瀬 洋子 議員

【質問1】次期中間処理施設整備事業の施行に関する整備協定書について

(1) 整備協定書(案)に対する意見募集結果について

(2) 整備協定書の内容について

(3) 今後のスケジュールについて

- ① 協定書締結に向けて
- ② 締結後の作業について

【質問2】白井市内にある旧清掃工場の跡地の利活用について